

## 第2期八雲町総合計画策定に係る地域懇談会実施結果

10月17日から26日の日程で開催し、6会場で延べ34名の参加があった。町民アンケート調査結果を報告した後、地域をはじめ町づくり全般に係る課題、意見、要望などを提案してもらった。

人口減少や少子高齢化を背景とした「産業・雇用」、駅周辺整備や交通整備などの「新幹線関係」、街路灯や防災無線などの「防災・防犯」に関する意見や要望が多くなっておりま

分野	主な意見
産業・雇用	○高校卒業後、就職・進学のため外に出てしまう。
	○上八雲に離農地がたくさんある。農家のほとんどが後継者がいない。町として何らかの方法を考えてほしい。
	○ホタテの稚貝の生産を熊石でも出来れば最高だと思う。
	○働く場所がないのが一番の問題。
	○熊石は漁業のまちだと思っているので、それに合う様な仕事があればいいと思う。
	○黒岩の場合は、働く場所がないから八雲まで行かなければならない。黒岩は第一次産業しかない。
	○ザラボヤの関係だが、水産の方でももう少し研究出来ないか農業試験場は色んな試験をやっ
	て、それで農家は技術を習得している。
○若い人が働ける場所を作ってほしい。	
エネルギー	○八雲町は風力発電とかメガソーラーとか持ってこれる土壌にある。
	○風力や地熱などの資源を利用して発電して、駅周辺で利用して、さらには売電事業を考えたらどうか。
	○地熱発電は非常に良いこと。地熱発電を活用して街灯料を下げてもらえれば助かる
	○自然エネルギーの活用方法は、北電に売買だけではないと思うが、何かビジョンはあるのか
交流	○人が集まってくるようなイベントがもっと必要。
	○学校がなくなったら子どもが遊ぶ姿を見なくなった。学校がなくなると活気がなくなり、集まる機会もなくなる。
協働	○協働のまちづくりはまだ浸透度は低い。
	○地域の中で30～40代が引っ張っていかなくやならない。
	○若い人が自分の意見を出さないのが情けないと感じる。
	○人材がいないと、どんないい計画や構想を作っても空回りしてしまう。人材育成が必要。
	○若い人が町づくりに関心がない。
	○高齢化が進んでいくと、10年後にも今と同じ活動ができるかというとなりに難しくなっている。自分たちも悪いのかもしれないが、若い人達を取り込んでこなかったということもある
	○若い人達に、協働して何かをやっていく地域の活動を理解してもらわなければ、なかなか参加してもらえないと思う。高齢化しすぎてなかなか若者が入りづらい環境になっているのかもしれない。
	○協働のまちづくりの中に、災害時の体制づくりが必要と思う。災害時は町内会との協力が不可欠。
社会基盤	○熊石で下水道が通っていない地域がある。同じ町民なのに不公平だ。

分野	主な意見
新幹線	○新幹線の駅には3つの要素がある。新幹線に乗って出かける駅。新幹線に乗って訪れる駅。相互に行きかう駅。八雲の場合は新幹線に乗って出かけることは多くあっても、新幹線を利用して八雲に来たいという方は、期待は大きいと思う。
	○身の丈に合った周辺整備をしていくことが大事
	○新幹線が通れば特急がなくなって在来線もなくなれば、町民からすると不便になる。
	○木彫り熊発祥の地なので、クマ牧場を整備してはどうか。
	○建物自体は近代化しなくてもよいと思う。わら葺屋根の駅舎などは古風があって良いと思う。牛舎とかサイロとかもよい。
	○何かとんでもない構想をしなければ、人は降りてくれない。
	○奥尻と熊石のフェリー航路を考えるべき。奥尻の人はどこに行くにも、必ず雲石峠を通る。新幹線開業と一緒に考えてはどうか。
	○新幹線の八雲駅はどこに出来るのかわからない。
	○交通の便はどうなるのか。現八雲駅には車で行けるが、そこから新八雲駅には車がないといけないのか。
	○新幹線の場合は、飛行機よりも時間に正確なのが良い。飛行機はちょっとしたことで30分、1時間はすぐ遅れる。ビジネス的には使いやすい。
○駅周辺に観光牧場の整備はいい考えだ。農業学校もいいと思う。	
交通	○10年前から見たら公共交通の便が悪いという回答が増えている。多少の不便さはあるが、そんなに変わりがないと思う。
	○道の駅を建設する考えはないのか。
	○峠を含めた道路整備をしてほしい。
	○檜山の人たちは札幌に行くときは雲石峠を利用する。
	○落部地区に住んでいて不便と感ずることは、本町との距離感。
教育・子育て	○若者(小・中・高)の意識が都会化していると思う。
	○小・中・高校生は年代が上がるにつれ、挨拶をかえさない。
	○他の人とのかわりをもたない若者が多い。
	○域学連携の関係で北里大学の教授が熊石に来た。北里大学の分校をつくるという考えはないのか。
	○研究施設でも作ってもらえば、町としてもよいのでは。
	○廃校となった学校をうまく活用してほしい。
防災・防犯	○町内に街灯はあるが、高齢者がライトもつけずに荷車を押しながら歩いている。車を運転していると、薄暗くて良く見えないので、市街化区域内だけでも街灯数を増やしてほしい。
	○街灯は町のおかげでLEDとなった。明るくてとても良い。来年度は、家庭にもLED補助を出すとかはどうか。
	○街灯は防犯街灯なので町で全額払うべき
	○外国人の従業員が増えてきて治安の問題が心配。
	○外国人が増えるのはいいが、女性と子どもが危険を感じることもあると思う。
	○防災・行政無線について、熊石には個別受信機がついているが、八雲にも個別受信機をつけたい。

分野	主な意見
保健・福祉	○今後、高齢化が進む中で、高齢者が働ける場所や集まれる場所が必要となる。ボランティアでなく少額でも収入が得られるような施設があった方がよい。高齢者対策は全然進んでいないように見える。
	○熊石は高齢者が多い。
	○黒松内、寿都、島牧などに障害者の施設があるが、八雲にも作れないか。
	○高齢者が気軽に集まれる、気晴らしの出来る場所があってもよいと思う。
	○健康的な体作りの場もあってもよい。
その他	○自分は転勤族だが、八雲は他の町に比べて住みやすい。
	○3,000のアンケート用紙を配って、3割の回答しかないのはどうしてだろうか。囑託員が配って回収した方が良かったのでは。3割しか返ってこないというのは、そのぐらい無関心なのかと思う。
	○花の首飾りの音楽はいらない。
	○国立病院の跡地に、役場機能を全部集約したらどうか。
	○アンケートを見ると熊石地域は、「働く場が少ない」や「公共交通機関の便が悪い」の数値が高くなっている。地域の実態を反映していると思う。町としては、この部分について力を入れていただきたい。
	○合併して10年が経った。合併の検証しながら、新しい産業、今ある産業を充実させていかなければならない。少ない人口でも、産業がしっかりしていればやっていける。
	○相沼の質のいいお米を広められたらと思う。ふるさと納税で出来ないか。
	○山車の整備を宝くじの助成金で行っている。今年から車庫(格納庫)については助成の対象外となった。格納庫がなければ、将来山車行列を続けていくのに不便をきたす。町の負担で整備出来ないか。
○野田生の空き地だが、活用方法はないだろうか。家を建てるのであれば無償でということであれば、需要はあると思う。	
○八雲のまちづくりの進め方として、ハード事業はもういいと思う。ソフト事業にお金を使うべき。	